

ラッパタケ科

オオムラサキアンズタケ

Gomphus purpuraceus (Iwade) K. Yokoy. (nom. inval.)

兵庫県ランク… 注
環境省ランク… -

■ 県内分布

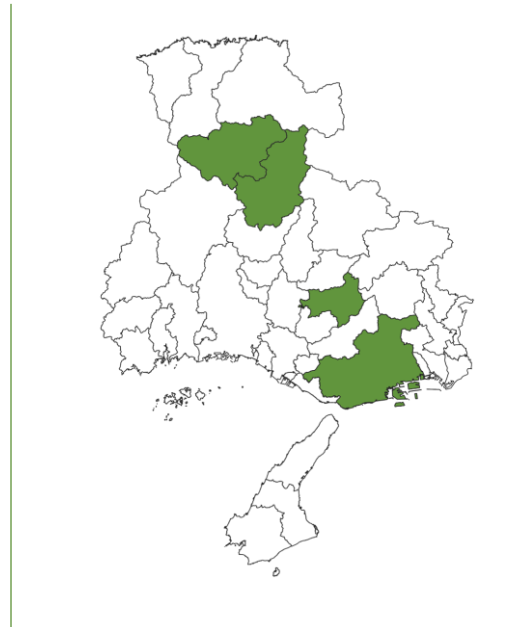
神戸市、加東市、養父市、朝来市

■ 国内分布

兵庫県、他

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

県内では希少なキノコでアカマツ・コナラ林に発生する。アンズタケ様の形状で中型、紫色の珍しい形態のキノコである。



写真提供:平山吉澄

■ 保護上の留意点

発生地の保全(アカマツコナラ林)。

■ 種の概要

子実体は多数の傘が寄り集まり、短い柄をそなえ、高さ20cmに達する。傘はへら状、扇形、ろうと状、腎臓型等で、中心部は紫色。傘縁部はやや波うち、色も薄い。柄は合生し、同色。しわひだは垂生し、又状に分かれ互いに連絡している。肉は白く、むしろしまっている。においはない。胞子紋は暗褐色。胞子は9-10×4-6μm、平滑、非アミロイド。菌糸はクランプを持つ。夏から秋に林内地上に生える。食用。ややまれ。